

日本学術会議公開シンポジウム「ヒト受精卵や配偶子のゲノム編集を考える」
の開催について（案）

1. 主 催：日本学術会議医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方検討委員会
2. 後 援：（関連学会などを予定）
3. 日 時：平成29年4月30日（日） 13：00～17：00
4. 場 所： 日本学術会議講堂（予定）
5. 検討委員会の開催：有（4月30日（日）の12:00～13:00）

6. 開催趣旨：

医学・医療分野において、先端遺伝子改変技術、ゲノム編集の利用が進んでいる。現在、ゲノム編集を用いた生殖医療応用の実施は倫理的観点から安易に容認できないとする見解がある一方で、さまざまな目的でゲノム編集を使うヒト胚や配偶子などの生殖細胞系列の基礎研究が想定しうる。中国からヒト受精卵ゲノム編集の基礎研究が論文報告された際、世界的な懸念を起したことをふまえると、日本でも生物医学的、倫理的、社会的、法的観点で慎重に検討しなければならない。その一環として、一般の人々と対話の場をもち、ヒト生殖細胞系列におけるゲノム編集研究の在り方を深く考える。

7. 次 第：

13：00 開会あいさつ 五十嵐隆委員長

13：15～15：00 背景情報、論点の提供（1人10分、質疑5分）

13：15－13：30

日本の生殖医療の現状とゲノム編集研究（検討委員会委員）

13：30－13：45

ヒト生殖細胞系列ゲノム編集の基礎研究（検討委員会幹事・委員）

13：45－14：00

ヒト生殖細胞系列ゲノム編集の倫理社会的論点（検討委員会幹事・委員）

14：00－14：15

宗教からヒトゲノム編集を考える（宗教関係有識者）

14：15－14：30

日本におけるヒトゲノム編集や配偶子の研究規制（検討委員会委員）

14:30—14:45

ヒトゲノム編集と科学技術行政（行政関係者）

14:45—15:00

ヒトゲノム編集を巡る世論（マスコミ関係）

15:00～15:15 休憩

コーディネーター（マスコミ関係者）

15:00～15:30 ヒト生殖細胞系列ゲノム編集について模擬討論
登壇者：（検討委員会幹事、委員、有識者）

15:30～16:30 質疑応答

16:30～16:40 閉会のあいさつ 石川冬木副委員長